

# ～機器導入で商品の多様化と販路拡大～ 不動水産株式会社（広島県府中市）

## 背景・課題

不動水産株式会社では、海外の量販・百貨店に向けてマガキを大容量パックで販売しているが、大容量パックよりも少量パックのほうが需要が高い。しかし、現状の設備では、少量パック商品の袋詰め作業は手作業主体であるため、本格的な販売ができないという課題が生じている。

## 取組のポイント

コンピュートースケールピロー包装機を導入し、近年ニーズが拡大しているカキの少量パック製品の製造を機械化することで、生産量の拡大(1日約10,000袋)を図る。

販路拡大をするにあたり、高度な衛生環境下で高品質な商品の製造体制である点を訴求し、輸出量の拡大に取組む。

## 取組の成果

- ピロー包装機導入により、生産量の拡大が見込まれるとともに、作業を機械化したことで衛生面の向上も図られた。
- 機器の試験稼働も兼ねて商品のテスト生産を実施したところ、生産量及び商品品質が向上したことから、次年度以降本格的な生産体制を整備すべく、作業工程の見直しやロス率の改善等を行い、小袋製品を中心とした輸出促進に取組むこととしている。

## プロジェクトフロー

### 不動水産株式会社

パックの袋詰め作業が手作業主体なため、需要の高い商品の販売拡大ができない。

需要が高まっている自動包装機の導入

販売先のニーズに対応した高品質な製品の生産量増加

### 販売先

マガキの大容量パックよりも少量パックが欲しいが、買い付けることができない

不動水産株式会社が自動包装機を導入したことで、高品質な少量パックを大量に買い付けることが可能に

### 自動袋詰シール機



### ウェイトチェッカー



### 輸出向け商品包装袋

